

政治の怠慢で日本が **シリ貧** となることだけは避けるべきだ!

国政の“ど真ん中”での貢献を誓う

子どもにいちばんの笑顔を。

自民党は 児童虐待ゼロを目指します!!

かけがえのない小さな命を救うために、子育てに悩むお父さん・お母さんの手助けをすすむために、自民党は立ち上がりまします。

①自民党は「親を助け、さらに対策をすすめる」自民党の政策が第一。それぞれの課題で、親を助ける。児童虐待は法が各家庭で有効に機能しているかどうか、政策的に決めます。児童虐待を速改定や今後の対策に決めます。子育てに悩むお父さん・お母さんの手助けをすすむために、自民党は立ち上がりまします。

②自民党は「ハッピー・マインド」を推進します。児童虐待の予防には、地域の絆が不可欠です。全国で自民党の女性議員が、子育て中心の若い世代を支援、話し合いの場を設けてまいります。

〇虐待防止に関する相談窓口の電話番号

児童虐待防止ホットライン 0570-064-000 (18時～24時)

児童相談所 0120-99-7777 (24時間)

はせが党に提唱し、実現した。党の正式な活動です。



虐待の父母 親権停止

最長2年、法人後見も

民法改正案 来年提出へ 児童保護しやすく

努力がようやく結実!

読売新聞2010年12月16日号1面より抜粋



具体的な提案!

絆

「絆」社会の再興と「守」保守の使命

1 地域の絆を強めるために、個人市民税の1%を地域のNPO団体に寄付できるように税制を提案します。そして、町会連合会等の自治体でNPO団体を設立し、寄付控除することによって安定的に市民活動を展開できるように支援したいと思います。

2 離婚後の家庭の困窮が社会問題です。共同養育計画を法定化し、「夫婦は別れても、親子の絆を守る」という理念を確立したいと思います。両親の双方の都合で勝手に親子断絶をさせないようにし、離婚後も共同で親責任を果たすべきです。現在、毎年25万人近い未成年の子どもが親の離婚で困っています。何とかしなければ、家族崩壊や貧困の連鎖が止まりません!子育ての一義的な責任は両親にあります。離婚することはあってもならないのですが、民法の離婚後の単独親権制度も、共同親権制度へと改正する機運を盛り上げたいと思います!

3 親権の一時一部停止を今年こそ法制化し、虐待などで困っている子どもを守り、崩壊した家族を支援するための法制度を確立したいと思います。また、「ここのとりのゆりかご」などの施設を法定化し、法人による未成年後見制度を法定化し、身寄りのない子どもに対する支援・養護体制を確立したいと思います。

大連立

期間・政策限定の「大連立」も視野に

生産性のない国会闘争は国民生活にとって意味がありません。期間限定、政策限定の大連立(自公民)も視野に入れるべきです! 期間限定⇨今期中には解散を封じる! 政策限定⇨どの政党が与党になっても、国政喫緊の難題には決断を下す!

- 1 憲法改正の道筋をつけ(衆参の憲法審査会を動かし)一院制を目指す。まずは、都道府県中選挙区制で国会議員定数を500名とする(現行の722名から大削減)。
- 2 財政健全化責任法の成立により国家財政のプライマリーバランスを黒字化させる。
- 3 税制の抜本的改革により社会保障の安定的な財源(消費税を含む)確保。
- 4 日米同盟、日米安保体制を強化し、普天間基地の名護市沖合周辺移設に目途をつけ、東アジア地域の平和を守る。「自衛隊の海外派遣恒久法」を制定する。
- 5 世界経済の発展に寄与するためにも、自由貿易体制を確立し(日韓EPAなど)、二国間同士の経済連携協定を進める。

国会改革

自民だ民主だと言っどくられない

国会の日程闘争にエネルギーを浪費する政治はうんざりだ。通年国会を実現し、閣僚の国際会議への出席も柔軟に対応し、国益をどしどし発信・実現すべき!

政治家のスクランダルなどは、予算委員会ではなく、政治倫理審査会で審議をすればよい。課題に迅速に取り組み、決断を下す国政運営に取り組みねば、与野党ともに国民から見放されてしまつて思っているのは、馳浩だけではないはずだ。何よりも、国際経済や外交から1周も2周も遅れてしまつ。日本人にはまだまだ潜在能力がある、経済大国でもある。日本は治安も安定しているし、向こう3軒両隣の結びつきも、伝統も文化も生活に根付いている素晴らしい国家だ。政治の怠慢でシリ貧となることだけは避けるべきだ。そう考えている仲間とともに活動し、よりいっそう国政に貢献したい。